



日本包装コンサルタント協会

〒103 東京都中央区日本橋人形町3-10-1

(かしきち人形町ビル7F)

(社)日本包装技術協会内

TEL: (03) 3249-7875

FAX: (03) 3249-0305

発行者 松本光次

編集者 木村勝三郎

石原昌具

No. 9 1992年(平成)4年8月

会

報

「地球環境の時代に思う」

地球環境シンポジウムが今回初めて開催され、日米の財界人達が、環境と企業活動とくに規制と開発、資源とリサイクル、また国際的な環境管理等の諸問題について討議したことは、極めて有意義な事で、今後も是非積極的に推進してもらいたいものである。これは政府間交渉あるいは、学者間の討論ではなく、企業の当事者達により実際の、具体的なテーマについての討論の場が持たれたことに特別な意味を感じる。

リサイクル法、廃掃法等も現実に施行の運びとなり、さらに環境基本法が「地球環境が人類の生存・活動の基盤」であって、「健全で豊かな環境を将来の世代へ継承」し「環境保全に参加し、環境負荷の少ない経済社会を構築」するため、従来の「公害対策基本法」、「自然環境保全法」の役割をも含めた新しい基本法の制定を検討中といわれる。

しかしこれらの理念を企業活動の上に実際に具現するのは、討論でも規制でもなく、企業の自覚と経営努力でなければならない。

このように考えるとき、包装コンサルタントとしての役割も、現代の包装・物流の変革の時代の産業界、包装・物流関連業界のもつ地球環境的課題に対応するものとして、そのコンサルタント活動の、日頃の実践的かつ具体的指導の根底には、企業活動におけるいわゆる『企業戦略と環境との調和』をめざすことにより、環境対策が『企業の競争力を高め』、『商品の付加価値を向上し』、『その差別化を推進する』等の見地に立つものとしての認識を必要とする。

私達の協会が、信頼できる知能集団として、以上のようなフィロソフィーに根ざし、コンサルタントとしての使命感に燃え、その存在価値、必要性を世に広めるのもこの点にあると考える。

会 長 松 本 光 次

《協会活動》 平成3年12月～平成4年5月

理事会の開催

第35回・理事会の開催 平成3年12月13日(金)

- ①秋季セミナーの成果報告の件
- ②合同新年会開催の件と役割分担の件
- ③英文パンフレット作成委員会の設置の件
- ④No.8 会報の原稿整備状況の件
- ⑤例会の開催と運営の件(会員委員会担当)
- ⑥次回理事会の件(平成4年3月27日開催予定)

第36回・理事会の開催 平成4年3月27日(金)

- ①平成3年度事業報告及び収支決算報告の件
- ②平成4年度事業計画及び収支予算案の件
- ③規約改正の件(第19条に4項を新たに設ける)
- ④役員任期満了にともなう新役員候補の件
- ⑤新規委員会構成の件
- ⑥会員退会の件と顧問委嘱の件
- ⑦関西支部長選任の件
- ⑧第7回通常総会開催日の件(5月22日金曜日)

午後2:00より、場所日本包装技術協会会議室・終了後パーティー)

第7回通常総会 平成4年5月22日(金)

- 1. 会長挨拶
- 2. 議長選出
- 3. 議題

第1号議案 平成3年度事業報告及び収支決算承認の件

第2号議案 平成4年度事業計画案及び収支予算案承認の件

第3号議案 規約改正に関する件

第4号議案 任期満了に伴う役員改選及び新任に関する件及び任期満了に伴う幹事選任の件

- 4. その他

新役員

会長	松本光次
副会長	三浦渉
副会長	大澤良明
副会長・関西支部長	有光茂
常務理事	高橋武男
常務理事	木村勝三郎
常務理事・本部事務局長	湯川義明
理事	斉藤竜太郎
理事・関西支部事務局長	永田弘利
理事	高沢昭男
理事	石原昌具
理事	佐藤良明
理事	納富良太
理事	田口治平次
監事	原明弘
監事	村山涼二

理事会の開催の予定

第37回	平成4年7月 (委員長会議併催)
第38回	平成4年10月
第39回	平成5年1月 (委員長会議併催)
第40回	平成5年4月



《会員活動》(平成3年12月～平成4年5月)

講演・講義

岩崎 和男

1. 各種高分子材料の発泡成形技術
.....技術情報協会 1月
2. フェノールフォームの市場動向と展開
.....産業技術研究会 2月
3. 最近のプラスチック建材開発の課題
.....情報開発社 4月
4. 発泡プラスチックの技術開発動向
.....情報開発社 5月

大澤 良明

1. 紙器営業の基礎知識
.....日本印刷技術協会 4月
2. 包装廃棄物の現状と課題 幕張CMM
.....加工技術研究会 4月
3. 食品の品質保存と包装技法(1)
.....日刊工業新聞社 4月
4. 包装基礎コース(紙器).....J P I 5月
5. 食品の品質保存と包装技法(2)
.....日刊工業新聞社 5月

木村 勝三郎

1. 創造性開発技法入門.....東京都 5月

木村 年治

1. 国際化時代における輸送包装設計
.....日刊工業新聞社 3月

久米 政樹

1. 中国向け梱包用木材の燻蒸について
.....梱包組合 5月

桑 和美

1. 食品のパッケージデザイン戦略
.....工業技術会 3月

田口 治平次

1. 包装学校専門講座「よい仕様書の作り方」
.....J P M A 12月

本多 四郎

1. 産業廃棄物の利用.....日本技術士会 5月

松本 光次

1. 機能的包装設計
.....日本ロジスティクス協会 4月
2. 食品の品質保全総合講座第一講
.....日刊工業新聞社 4月
3. 食品の品質保全総合講座第二講
.....日刊工業新聞社 5月
4. 包装基礎コース 商品包装技法
.....J P I 5月

横山 徳禎

1. パッケージデザインセミナー
.....日刊工業新聞社 5月

脇谷 慶之

1. 包装物流とシーソラス
.....J P C A関西支部 4月

執筆活動

石原 昌具

1. 統計から見た食生活の動向と
食品包装容器の展望 …PACKPIA 1月

大澤 良明

1. 食品用機能性包装材料(6)
(液体用紙容器の機能性) ミートジャーナル 12月
2. 食品用機能性包装材料(7)
(鮮度保持包装) …… ミートジャーナル 1月
3. 食品用機能性包装材料(8)
(これからの食品包装) …ミートジャーナル 2月
4. 食品の品質保持と包装(1)
(食品の変敗要因) …韓国食品通信社 2月
5. 食品用機能性包装材料(9)
(可食性フィルム) ……ミートジャーナル 3月
6. 食品の品質保持と包装(2)
(一般加熱殺菌) ……韓国食品通信社 3月
7. 食品用機能性包装材料(10)
(ガス選択透過性フィルム) ミートジャーナル 4月
8. 食品の品質保持と包装(3)
(レトルト加熱殺菌) …韓国食品通信社 4月
9. 食品用機能性包装材料(11)
(セラミック蒸着フィルム) ミートジャーナル 5月
10. 食品の品質保持と包装(4)
(真空・ガス置換包装) 韓国食品通信社 5月

木村 勝三郎

1. 中小企業の共同物流事例研究
……………中小企業診断協会 3月

桑 和美

1. 鼎談「パッケージ時代の楽しみ方」連載
……………PACKPIA 12月～5月

田辺 幹夫

1. 段ボール, 紙器工場内外の有害物質
……………CARTON・BOX 12月
2. ポストプリントが急速に進歩…
……………CARTON・BOX 1月
3. コルゲータの合理的な高性能化
……………CARTON・BOX 2月
4. 段ボール箱の強度を保つ省資源
……………CARTON・BOX 3月
5. 段ボール箱の保護コーティング
……………CARTON・BOX 4月
6. 最近の段ボール箱封かん用接着剤
……………CARTON・BOX 5月

本多 四郎

1. 食品産業に於けるコストアップ要因と対策
……………食品と科学 1月
2. 食品科学と味覚シリーズ
……………食品化学新聞 継続中
3. 技術アドバイザー成功事例
……………神奈川工業試験場 継続中

村山 涼二

1. 飲料の新製品開発の傾向
……………食品と科学 2月

横山 徳禎

1. 駅弁包装あれこれ……………包装技術 1月
2. パッケージデザインの現状と今後
……………CARTON・BOX 4月

海外関係

岩崎 和男

1. 韓国電機メーカーの技術指導
……………韓国 1月, 3月, 5月
2. 韓国化学メーカーの技術指導
……………韓国 1月
3. 韓国建材メーカーの技術指導
……………韓国 12月

久米 政樹

1. 「竹合板製造について」
製造技術と機器選定のアドバイス
……………中国・宜興市 1月, 5月
2. 中国・上海市投資環境改善訪日考察団に対し,
日本の輸送包装業界の現状説明
……………中国・上海市 3月

桑 靖彦

1. 生産計画と管理(工場指導及びセミナー)
……………フィジー共和国(APO主催) 3月

田口 治平次

1. 包装作業改善指導(稼働率向上と保全)
……………韓国 4月

本多 四郎

1. インスタント食品工場指導……………中国 3月
2. 神奈川ベトナム経済交流企画……………ベトナム 4月
3. 中国コンサルタントグループ交流
……………中国 4月
4. ニュートレードマート……………韓国 5月

松本 光次

1. 上海郷鎮企業活性化調査……………中国 3月

湯川 義明

1. 技術交流……………シンガポール他 1月~2月

コンサルタント その他

石原 昌具・大澤 良明

1. 飲食料品用機能性素材有効利用技術の普及
……………(財)日本食品分析センター 2月

木村 勝三郎

1. 診断士3次試験(実習)指導
……………通商産業省 1月
2. 駅施設防災診断(第2次)
……………JR東日本 3月

木村 年治

1. 梱包判断に必要な材料及び構造力学演習
……………N社 12月~5月
2. 重量物の簡易包装設計……………K社 12月

久米 政樹

1. 輸出梱包基準の作成(ディスクレットを提供)
……………T社 4月

桑 和美

1. ミロブランド菓子シリーズパッケージデザイン
……………株式会社ミロ 2月
2. ミロブランド菓子シリーズパッケージデザイン
……………株式会社ミロ 2月
3. 口臭除去グミ商品企画……………株式会社 3月
4. トリュフボールパッケージデザイン
……………株式会社 4月
5. 冷凍ケーキ商品企画……………株式会社 5月
6. アフターエイトチョコレートパッケージデザイン
……………株式会社 4月

桑 靖彦

1. 包装材料に関する訴訟事件・技術鑑定
.....12月～5月

田口 治平次

1. 惣菜包装の機械化指導
.....S食品 12月～2月
2. 設備管理と保全業務指導
.....A..... 12月～2月

田辺 幹夫

1. 衣類倉庫の防湿対策.....O社 4月

本多 四郎

1. 食品産業の廃棄物利用.....神奈川県 2月
2. 工業団地の開発計画
.....日本立地センター 3月
3. 新しい食品工場の設計と開発
.....工業技術会 5月
4. 技術移転.....K T F 5月

村山 涼二

1. 工業用洗剤の品質評価.....12月～2月

湯川 義明

1. 神奈川県技術アドバイザー.....3社 4月
2. 神奈川県高度支援財団コーディネーター
.....1社 4月
3. 環境問題レポート他.....1社 12月～5月

